

六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第25号
校長 加藤 浩昭
令和6年1月9日

令和6年がスタートしました

13日間の年末年始休業を経て、本日、六中の令和6年がスタートしました。

雪のない穏やかな年越しの喜びも束の間、元日の夕方に「能登半島地震」が発生しました。酒田市でも震度4を観測し、津波警報も出されました。本校にも36名の方が避難してきました。夕方から夜にかけて余震が続き、夜が明けた2日、映像や様々な情報を通じて被災地の様子が分かってくる中でその被害の大きさを改めて知ることとなりました。

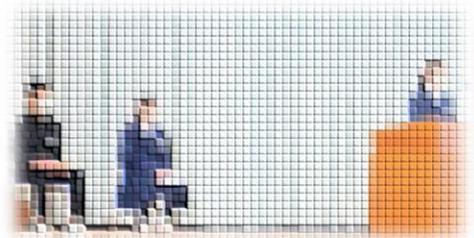
右上は、初詣で訪れた荘内神社の手水舎の写真です。季節折々の花を浮かべた花手水を楽しみに時折足を運んでいます。年末から年始にかけては、宮司さんが選んだ今年の一文字が手水舎に掲げられます。令和6年の1文字は「祈」。その字を見ながら、今年1年の平穏と発展、子ども達の活躍・成長を祈ってきたところでしたが、今は安否が不明な被災者の発見と、被災地に一日も早く日常が戻ってくることを祈らざるを得ません。



始業式の中で…

3学期の始業式が行われました。伊藤美穂さん(1-1)、佐藤醒磨さん(2-4)、五十嵐絢さん(3-3)が学年を代表して3学期、新年の抱負を発表してくれました。

始業式で、校長からは以下のような話をしました。



- ① 話の最初に能登半島地震で亡くなられた皆さん、被災者の皆さんに思いを至らす時間を取りました。
- ② 今年の干支「甲辰(きのと・たつ)」の意味に触れ、新しい1年に向けての期待を話しました。
 - ・「甲」は十干の一つ。十干の最初であることから「はじまり」・「成長」を表す。
 - ・「辰」は伝説上の生き物。力強さ、成長の象徴。
 - ・以上のことから「甲辰」には「成功の芽が成長していき、姿を変えていくこと」、「力が溢れ、活気づく」、「今まで準備してきたことが形になる」等の意味があること。甲辰の1年。一人一人が、また六中として「成長し、活気に溢れ、成果を残せる」そんな1年にしていこう。
- ③ 今日は、今年度の最後の節である第6節のスタートでもある。6節のテーマは「出発」。新しい年、新しい学期の始まりであると同時に、4月からの「新たな生活」に向けた準備の始まり。3学期は1年間のまとめの学期であると同時に、4月から始まる新しい年度の準備を進めるための大切な時期。「3学期は新しい年度を迎えるための0学期」と捉え、より良い自分づくりに取り組んでいこう。
- ④ 最後に上記の②、③を達成するためのヒントとなりそうな言葉を紹介しました。その言葉は休み中に読んだ本の中の1冊、「Challenginng Tom」～勝利への24の至言～(トム・ホーバス著:ワニブックス社)から引用しました。トム・ホーバスさんは、現バスケットボール男子日本代表監督。2021年に開催された東京オリンピックではバスケットボール日本女子代表を率いて金メダル獲得を目標に掲げ、惜しくも目標は達成できなかったものの、日本バスケットボール界初のオリンピックでのメダル(銀メダル)獲得に導いた方です。

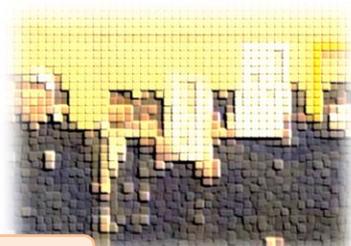
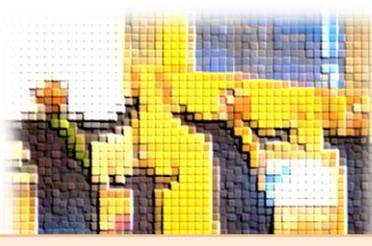
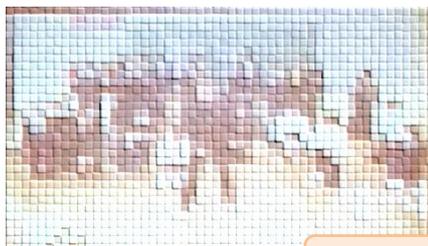
内容的には指導者向けのコーチング、チーム作りの本ですが、目標達成に向けたマインドセットの参考になりそうです。

 - 自分の意志で目標を定める
 - 限界を自分で決めない
 - 時間を有効に使う
 - 目標達成のための道筋(選択肢)を複数持ち使い分ける(=変化にアジャストする)
 - 逆境にあってもヘッドダウンしない(=諦めない 下を向かない 自分を信じる)

心を込めた入試激励会

年が明け、3年生は自分が進む道を切り開くための高校入試の時期を迎えました。そんな3年生を励まそうと、12月26日（火）に行われた入試激励会。その様子を改めて紹介します。

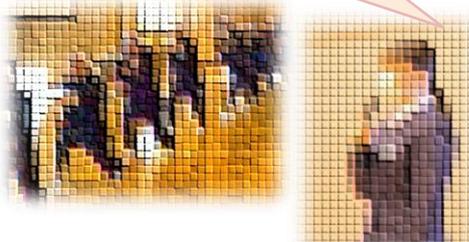
まずは、開会の言葉に引き続き各学級が準備・撮影をした激励メッセージビデオが放映されました。1年1組→2年1組→1年2組…2年4組。8つの学級をタスキでつなぐ演出にも工夫があり、しかも各学級のビデオの内容も素晴らしいものでした。どの学級も一生懸命さが伝わってきて、ビデオを見ながら涙が出そうになりました。その後、有志応援団によるエール。これまた本気が伝わってくるものでした。引き続き1，2年生全員による激励の呼びかけが行われ、最後は1学年生徒会、2学年生徒会の企画による激励のメッセージが3年生に贈呈されました。



心を込めたビデオメッセージ・エール・呼びかけ



1年生からは絵馬風の寄せ書き



3年生を代表し今野麻海さん
(3-2)がお礼の言葉



2年生からはオリジナル
デザインの旗の寄せ書き

〈校長が心を震わせた感動ポイント〉

- 「誰かのために」の思いがあふれていた。今回の場合は、入試に向かう3年生を激励しようという1，2年生の本気を感じました。
- 新生徒会の役員だけでなく、学年生徒会の協力、応援団への有志の参加等、1，2年生みんなで創り上げた激励会でした。
- 3年生を激励するという本来の目標を大切にしながらも、この機会を通して、自分たちの学級・学年を成長させようという意欲を感じました。
- 全体を企画した、新生徒会のアイデア、実行力に感銘しました。
限られた時間の中で、計画・実行した1，2年生に改めて拍手を送ります。

六中生の活躍

- 第23回山形県空手道錬成大会 最優秀選手
黒帯基本試合・形試合 優勝 畠山 夏さん(2-2)
- 遊佐町新春バスケットボール大会 男子 優勝
MVP 中西きらりさん(2-4) 仲條羽玖さん(1-4)
- コミュニティ新聞社新年イラスト書道コンクール
〈イラスト部門〉
入選 高橋美慧さん(2-1)
佳作 佐藤美結さん(1-2) 原田未来さん(1-2)
堀井美波さん(1-2) 村岡 結さん(3-4)
- 〈書道部門〉
佳作 池田美月さん(2-2) 柳沼璃桜さん(1-2)

保護者・地域の皆様へ

新年明けましておめでとうございます。
昨年中は本校の教育に対しましてご理解とご協力を賜りますとともに、六中生を温かく見守っていただきましたことに改めて感謝申し上げます。
年も変わり、教職員一同また新たな気持ちで教育活動に邁進してまいります。本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いたします。

